アトミクラブ通信　　NO. 168　2020年5月

皆さま　こんにちは

早いもので２０２０年が明けてから４か月が過ぎました。今年３回目のアトミクラブ通信をお送りいたします。前々号（１６６号１月）では今年７，８月に行われる予定だった「東京五輪・パラリンピック」の開催が待ち遠しいと高鳴る気持ちを記しました。前号（１６７号３月）では新型コロナウイルスの影響は感染者が世界に広がりつつあり、感染リスクがわれわれランナーにも忍び寄っているのでお互い気を付けようと呼び掛けました。

さて今号（１６８号５月）は、新型コレラウイルスの感染増が止まらないことから、４月１７日に「緊急事態宣言」が７都府県から全国へと拡大され外出自粛が叫ばれる中でこの原稿を書いております。
この４か月の間に世の中は様変わりしました。中国武漢で端を発した新型コロナウイルスがいままさに世界を恐怖と失意のどん底に陥れ、世界規模での累計感染者数は２９０万人に迫り、死亡された方が２０万人を超えました（４月２６日午前現在）。いまだに感染拡大の勢いは留まることをしりません。そして世界経済にも大きな影を落とし１９２９年に起こった世界恐慌に匹敵するとも言われています。

日本では、この１か月の間に、いつもお茶の間のテレビで見る身近な著名人のコロナ感染が相次いで報告され、元ドリフの志村けんさんや女優の岡江久美子さんなどが感染、急激に重篤な状態に陥って病状を回復しないまま帰らぬ人となりました。このほかにも多くの芸能人、スポーツ関係者などがコロナウイルスに感染し闘病を余儀なくされています。とても侮れない怖い感染症だという事が、身近の人の死によりだんだんに解かってきました。

我々が生きている時代に感染症が人類に脅威を与える瞬間を目の当たりにするにつけ、大変な時代に突入したなと痛感する日々です。これからこの新型コロナウイルスの感染拡大をどのように抑え込んでいくのか、人類の英知が試されています。まだまだ先は見えませんが、この難局に耐え、みんなで乗り越えていきたいものです。

■　国内で初の感染者が出てからはスポーツイベント・文化イベントのほとんどが中止または延期になり、ランニングの世界にも大きな影響が出ています。２月下旬からランニングの大会はほとんどが中止され、その中止の流れは秋開催の大会にまで影響を及ぼそうとしています。大きな大会で市民ランナーが参加して開催されたのは２月１６日の青梅マラソンあたりが最後になったでしょうか。

ランニングの大会に限らずサッカー、野球、大相撲はもちろん、バスケ、ラグビーなども開催中止か延期に追い込まれていますし、また音楽、美術、演劇などの文化的なイベントもほとんど開催中止ないし延期になり、こういう閉塞の時にこそ存在してほしいイベントがすべてなくなってしまいました。何か持っていき場のない気持ちになります。でも、そこは心を落ち着けて、不要不急の外出を控え、人との接触をできるだけ避けて、この難敵コロナ禍が通り過ぎるのをじっくり待ちましょう。明るい未来はきっともうすぐそこまで来ていると信じて。

こういう状況の中ですが、会員の皆さまにはコロナウイルスに罹患することもなく、上手にやり過ごしていただいていることと思います。「自らの命は自らで守る！」の気持ちでご自身の健康、安心、安全を最優先にして慎重に行動していってほしいと願っています。さらに付け加えれば、日頃鍛錬して体調管理がしっかりできている皆さまのことです。もし、すこしでも体調に変化を感じたら速やかに休養をとっていただくとか、躊躇なく病院や保健所へ連絡する等の行動を起こし、ご自身の命を優先していただきたく思います。

なお、我々一人一人が感染しないように、そして感染させないように注意することによって医療の現

場の負担を減らすことになりますし、引いてはこの日本で医療崩壊が起きないことに繋がります。マスク、手洗い、うがい等の励行や外出の自粛には積極的に協力して三密（密閉、密集、密接）の状態を作らないことが大事ですね。

この間、医療、物流、福祉などに携わっていただいている皆さま、食品や生活の様々なものを我々に提供していただく業務についておられる方、本当にありがとうございます。どんなに感謝しても感謝しきれません。アトミのメンバーの中にもこれらのお仕事に従事されている方がたくさんいます。このスペースをお借りしましてこれらメンバーの方に感謝の気持ちとエールを送ります。フレ～！フレ～！

どうぞご自身を大事にしてくださいね。

■ 今年７月から９月にかけて行われる予定だった「２０２０東京オリンピック・パラリンピック」が新型コロナウイルスの感染拡大により一年間延長することが決まりました。一時はＩＯＣ並びに大会組織委員会と東京都の見解が食い違い、実施するのか、延期なのか、または中止なのか、だいぶヤキモキしましたが、一年後の同時期に開催と決まりホッといたしました。今年の夏に合わせて調整してきた選手の皆さんには、複雑な思いもあると思います。ただ来年に気持ちを切り替えて臨んでほしいと思います。

陸上のオリンピックマラソン代表についてですが、男子マラソンの最後の一枠は前号に大迫傑選手が獲得したことを書きましたが女子の残り一枠はその時点でまだ決まっていませんでした。3月８日の「名古屋ウィメンズマラソン」で一山麻緒選手（ワコール）が２時間 20 分 29 秒で優勝し、マラソン（女子単独）で日本記録を更新しました。冷たい雨が降る中、有力な外人選手を置き去りにし見事優勝、代表に選出されました。大阪国際女子を制し、好記録を出していた松田瑞生（ダイハツ）選手は惜しくも補欠に回りました。これで男女６名のマラソン正式代表が決まりました。開催が１年延期になったことでモチベーションをさらに引き上げてぜひ頑張ってほしいと思います。

「２０２０東京オリンピック・パラリンピック」がこの日本でコロナに打ち勝った証として安心して盛大に開かれるようにいまからみんなで願っていきましょう。

■ アトミクラブは今年４月で結成から丸３６年を経過し３７回目の春を迎えました。コロナ禍に揺れる一年になると思いますが、皆さま、今季もどうぞよろしくお願いいたします。

① ４月１日の時点で５３４名の方が会員として今年度も更新していただきスタートいたしました（内、アトミでの陸連登録は１０４名）。会員の名簿管理と会計は毛塚敏男さんに、陸連登録は今年から松田由子さんが加わってくださり担当してくれています。どうもありがとうございます。

② 「アトミクラブ２０１９年度個人種目別ベスト記録」・「アトミクラブ種目別ベスト２０～３０（２０１９）」（2019/4～2020/3）をホームページにアップいたしました。記録の取りまとめは今回も伊藤真さんにお願いしています。先季はシーズン後半に大会が無くなり、およそ１１か月分の集計結果になりました。伊藤さん、膨大な記録資料を毎年ありがとうございます。そして今年度もよろしくお願いいたします。

③ さて、アトミクラブの活動は会計、陸連登録、記録、ホームページ、渉外、広報、合宿、織田Ｆの利用権利の抽選獲得や練習会受付、さまざまなイベントの多くをスタッフの献身的な務めによって成り立っています。これらサポートしてくださる方と共にまた本年度も一緒に頑張ってまいりたいと思います。２０２０年度もよろしくお願い申し上げます。

■ わがアトミクラブもコロナウイルス感染防止で自粛が叫ばれている、こういう状況の中、２月２７日から４月末日まで織田Ｆ練習会、代々木公園練習会、皇居練習会などすべての行事を中止にいたしました。実際には「緊急事態宣言」が出され施設が利用できなかった部分もあるのですが、ひとたび練習会を開けば三密の状態を避けられません。事務局ではメンバーの方の感染リスクを最大限予防することを責務とし中止を決めさせていただきました。５月の練習会も今の状況では再開に踏み切れません。残念

ですが中止とさせていただきます。

合同練習ができない期間中はご自身の判断で自主練習などを工夫して行っていただければ幸いです。合同での練習ができず不自由を感じるこの頃ですが、いまが辛抱のしどころです。ここ当分は今の状況に慣れるとともに練習再開後にはいい汗がかけるようお互い気持ちを前に向けていきましょう。

新型コロナウイルスが我々の生活を蝕んでいく中、普段当たり前に走れていた日常がどれだけ大事だったのかに思いを巡らせて、皆さんもどうかこの難局を無事に乗り切り、早く事態が収束に向かいますことを願ってください。

■ アトミクラブ２０２０年前半のイベントは４月３０日の「合同タイムトライアル」、５月１７日開催の「第２３回東日本年齢別駅伝　/第２９回皇居レディース駅伝大会」、６月５日（金）～７日（日）での「越後湯沢岩原合宿」を予定していましたが、残念ながらすべて中止になります。いまの状況をご理解いただきご容赦いただきますようお願いいたします。

■３月２８日にクラブの伝言板に皆様からの様々なメッセージをいただきたい旨、発信いたしました。何人かの方からお応えいただき【コロナに負けるな！】というコーナーをホームページに掲載しています。ぜひ読んでいただくとともに、皆さまからのメッセージを伝言板にいただきたく思います。

一緒に練習できない現状では皆さまから発せられるメッセージが元気の源（みなもと）になることもあります。まだまだ長期戦です。皆さまからのメッセージをお待ちしておりますよ！

■＜練習会報告＞　期間２０２０年３月～４月に実施予定の練習内容です。すべて中止になりました。

３月　５日	９０００m～１２０００m代々木公園ペース走　コロナウイルス感染拡大防止のため中止！	
３月　８日	皇居練習会　ペース走　４～６周	同
３月１２日	９０００m～１２０００m代々木公園ペース走	同
３月１９日	１０００mインターバル７本～８本	同
３月２６日	５０００mタイムトライアル　中止！	同
４月　２日	１０００mインターバル７本～８本	同
４月　９日	８００mインターバル７本～１０本	同
４月１６日	１０００mインターバル７本～８本	同
４月２３日	８００mインターバル７本～１０本	同
４月３０日	合同タイムトライアル　（５０００mT・T）	同

＜篠原義雄名誉監督が去る３月１２日に逝去されました＞

篠原監督が３月１２日午後３時２４分に永眠されました。享年７４歳という若すぎる旅立ちでした。篠原義雄さんのご逝去を悼み、クラブとして謹んでお悔やみ申し上げますとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

いつまでもお元気でいてくださると思っておりましたので、とても残念です。篠原監督は数年前にパーキンソン病を発症し、以来、病と闘い続けてきました。監督のご子息の賢一さんの話では昨年１２月に脱水症状と感染症の疑いで病院に入院をしたところ、末期の膵臓がんが見つかり、サクラを見るのは難しいと診断を受けていたそうです。２月の末に重篤の状態になりましたが、持ち前の体力で２週間堪えて頑張ってきたようです。

今回、コロナウイルスのこともあり、葬儀は家族のみで執り行われました。
後日、篠原家と相談の上、コロナ禍が落ち着いた後に「お別れの会」として旧知の皆様とお見送りしたいと思います。日程など決まりましたら、またその時にご案内させていただきます。

篠原監督の逝去の報を受けて、たくさんの方からメッセージや追悼のお言葉をお寄せいただきました。次項に掲載させていただきました。（以下、原文ママ）

篠原監督のご親族の皆様へ　追悼文

吉木稔朗

アトミクラブで監督（といつも呼んでいたので今回もそう呼ばせてください）にお世話になり 20 年近く過ぎました。35 周年パーティのときにお顔を拝見できたのが最後となりましたが、今思えば「会えて少しですがお話しできてよかった」という気持ちです。

2014 年に入ったころだったかと思います。監督から「ヨシキさん相談があるんだけど」と話しかけて来られました。「自分のマラソン人生の集大成として資料を集めて原稿を書いたけど、これを本にできないかな」という話でした。

頂いた原稿や資料を見させていただき、かなり辛口な感想を述べたと思います。本にするならきちんと向かい合わなければならないからです。

そうそう紹介が遅くなりましたが、私は出版社をやっており、いわば本を出すプロ編集者です。ですから「すごいですね」とか「よく調べましたね、感心しますよ」などという言葉を出しませんでした。とはいえ実際の原稿の内容はとても深いもので、なかなかここまで踏み込んで書ける人はいないと思いました。文章の端々に監督のまじめな実直な性格がちりばめられていています。

監督にお話ししたのはタイトルでした。「サブスリーを目指す女性ランナー」これが監督の考えていた本のタイトルでした。

サブスリーとはマラソンを 3 時間以内で走ることをいい、速いランナーの証しともいえるタイムです。「サブスリーの女性って全国に何人いますか。恐らく 500 人もいませんよ。その女性が全員読んだとしても 500 冊ですよ。もう少し裾野を広げましょう」「それに本の構成がまず用語解説から。これでは本を手に取ったときに読む意欲がなくなりますよ」と。

いい本を作るために遠慮なく言わせてもらいました。そこでタイトルを「マラソンを走り切る技術」としてサブタイトルに、「3 時間半からサブスリーを目指す女性ランナー、サブスリーから 2 時間半を目指す男性ランナー」としました。

著作権の問題があり写真は撮り直し。ストレッチの写真の背景が商店街の看板が写るなど生活感が溢れていたのでそれも撮り直し。

アトミクラブの女性 3 人に協力をお願いして撮影。走るフォームもアトミクラブのメンバーです。こうして構成は出来上がりましたが、これは研究論文ではないのでもう少し何か欲しいと思いました。食事で言えばメインディッシュの他にサラダに相当する部分です。

そこで考えたのが「コラム」です。

監督にしか書けないエピソードなどをコラムとして書いてはどうかと提案しました。コラムは 10 篇ほどになりました。この追悼文を書くにあたり、コラムを読み返しました。監督らしい誠実な人柄がよく出ているなと改めて感じさせられました。

コラムに出てくる谷川真理さんとはときたま食事をしますが、彼女はアトミクラブのことや監督との思い出など話してくれます。

ご家族の皆さんも是非この本の本文はともかくコラムは読んでほしいなと思います。監督とランニング。そしてアトミクラブとのかかわり。ご家族の知っている篠原義雄のもう一面が見えると思います。

監督、本当に残念でたまりませんが安らかにお休みください。御恩は忘れません。

篠原さんへ

富張光夫

篠原さんとは「みすじクラブ」からご一緒させていただき、いつも速い人だなと羨ましく思っておりました。年代が高くなってのロードレースで優勝、日体大の記録会にも何度も挑戦しすごかったです。

思い出と言えば篠原さんが土曜日に練習している時に、私が車で営業中、何回かお会いした際、練習を中断させて話をさせていただきました。その時に快く応対してくれたことを思い出し、いまでもうれしく思っております。

息子の裕紀も自分のレースの他、高校生、中学生をみています。

これもアトミクラブのおかげと感謝しています。

心からご冥福をお祈りいたします。

篠原監督との出会い

梨本忠三

私と篠原監督との出会いは品川区の陸上競技大会です。おそらく１９８１年位のことです。まだアトミクラブが結成される前で「東京みすじクラブ」のメンバーや浅木さん、大塚さんらと 16 分前半で競っていたメンバーが参加した大会でした。

篠原監督がサッカーパンツに黒のビジネスソックス姿で現れたのは 1500m 決勝です。結果は篠原監督が残り 400m 付近からの猛烈なスパートにより大差をつけての優勝でした。私も後塵を拝した一人でした。

後でお話をお伺いすると長期の海外滞在から帰国して間もないとのことで、学生時代に 1500m を走っておられたとのことです。篠原監督の当時の年齢は 36 歳位だったかと思います。まだまだ若く走る情熱に溢れていました。

それからみすじクラブのメンバーやハートブレークの前身である青東クラブのメンバーと合宿や駅伝に一緒に参加しました。そんな中でみすじクラブの運営方針（入会の壁）に疑問を持ち始めた私と篠原監督、山本さんと参加した若潮マラソンの前日の宿で「自由な雰囲気のクラブチームを作ろう」と言う話が持ち上がりました。

その後、びわ湖毎日マラソンの会場に向かう電車待ちの間に私が作成した「アトミクラブの基本的な考え方」を篠原監督に見ていただき、意見を反映して出来上がったのがホームページトップにある「アトミクラブのご案内」の原形です。

その後、何人かのメンバーに声をかけて東京体育館に併設された 300m のサブトラックで練習を開始したのが発足当時のアトミクラブです。それから 3 か月もしないうちに前述のみすじクラブで練習していた関田さんが入会を申し出て篠原監督が気持ち良く受け入れて下さいました。最初は数人で始めた練習会でしたが、一人、二人と増えて、発足から２年もしないうちに２０人を超える集団になりました。

トラックレース、ロードレース、フルマラソン、駅伝等多くのレースに一緒に参加しました。原宿合宿、富士見高原合宿、西伊豆松崎合宿、福島広野町合宿等、篠原監督の人柄か、多くのメンバーが家族同様に楽しく練習し、楽しく飲み食いしました。

以来、多くの楽しい思い出を残すことができました。

篠原さん、ありがとうございました。

「カントク」の背中　　― 追悼　篠原義雄監督 ―

関田善作

篠原義雄監督の訃報が届きました。まだ７４歳という若すぎる死に、私の中では、いまもお亡くなりになったという実感はなく気持ちの整理がつきません。
篠原さんはここ４，５年、難病と謂われるパーキンソン病を発症し、闘病の日々だったとお聞きしました。家にいらしてもアトミのことを絶えず気にかけていたとも。

…篠原さん（※）、長い闘病生活の後でのお旅立ちです。しばらくは闘病の疲れを癒し、ゆっくり体を休めてからお旅立ちください …（※ 以降、篠原さんを「カントク」と書きます）

私が「カントク」と関わりを持ったのは昭和も後半の５７年頃（１９８２年）だったと思います。アトミクラブが誕生するおよそ２年くらい前です。「みすじクラブ」というアトミクラブの誕生に影響を与えたクラブで知り合い、少しの間ですが一緒に練習をしたのがきっかけでした。「カントク」は私より５歳ほど年上でしたが、スピードとパワーは当時から健在で、自分より１０歳も２０歳も年下の有望ランナーを見つけては走力を競いあっていました。以来、私は３７，８年に亘り、「カントク」の背中を見て、アトミクラブの練習会や合宿、駅伝、レース、イベント等に一緒に参加させていただきました。
ふつう「監督」と謂うと、指導者、管理者と感じるかもしれませんが、「カントク」のそれは、それだけではありません。篠原さんのお人柄か、いつの間にか「カントク」という愛称でメンバーから呼ばれるようになりました。誰からも「篠原さん」ではなく「カントク」と呼ばれ慕われてきました。
がっちりした体躯、大きな背中がみんなを引っ張っていく。その走る後ろ姿を見ながら、今日まで我々はついてきました。アトミのメンバーがどんなに増えても、家族のように楽しい関係のまま変わらずに走る集団であるのは、「カントク」の背中が「こうやってやろうよ」と示してくださった結果ではないでしょうか。

「カントク」からは走ることやそれ以外にもいろいろなことを学びました。ここにこれまでの「カントク」のよく話していた言葉の中から記憶にある、そのいくつかを挙げてみます。

- ランニングは年齢や男女差、記録のレベルに関係なく意志さえあれば、誰でも自分でその時々に応じて夢や目標を持って挑戦できる。
- 夢や目標なしでは記録は向上しない。
- 一生懸命やっていればきっと誰かが見てくれている。慌てることも腐ることもない。
- 走るのがいくら速くても評価はしない。会社や家庭、周りの人たちと社会人としてしっかり調和してはじめて評価される人間といえる。
- 自分だけが走るのではなく、走れる環境を作ってくれる家族に感謝し、その家族を一番大切にしなくてはいけない。
- けっして人を非難したり、見下したりしない。だれでも欠点や問題はあるのだから。
- いつも鷹揚に構え、けっして小さい事にはこだわらない。つねに大局を見ること。

以上、簡単ですが、「カントク」の言葉や背中から学んできたことです。

「カントク」は６０代も半ばを過ぎた頃、よく言っていました。「７０歳になったら仕事を辞め、走る時間が取れることを今からとても楽しみにしている」と。残念なのは７０歳になるかならない頃に難病を発症し、日々、病との闘いになったことでした。
それでも走る気持ちは、一度も切らしたことがなく家の周りをジョグしたり、ウォーキングをしたりしてクラブの練習へ復帰することを目指していました。
いまから５年くらい前のことです。代々木公園の練習会に姿を見せ、自分は走らないにもかかわらず、

すこし引きずる足を庇いながら、みんなが走る様子を見守ってくれました。その時だけ「カントク」の背中がほんの少し小さく見えたように感じました。
　「カントク」には長い間、お世話になりました。ほんとうにありがとうございました。これからは先に天国で待っているアトミの面々と声をかけあってまた楽しく走っていかれることを心より願っています。そしてみんなで我々を見守ってください。
　我々もカントクのご遺志を継いでこれからも元気に頑張っていきます。さようなら。

ご連絡ありがとうございます。
昨年 35 周年でお会いした時も、記憶の監督より弱っていらして驚きましたがまさかとしか思えません。
後日お別れの会があるとは言え、新型コロナのせいでお通夜やお葬式に伺えないのがとても残念です。
監督のご冥福をお祈り申し上げます。
松田由子

悲しすぎます。35 周年が最後になったのですね。ご冥福をお祈りします。
吉木稔朗

篠原様　（毛塚さんからご子息　篠原賢一さんへ）
このたびは、まことにご愁傷様でございます。心からお悔やみ申し上げます。
お見舞いも行けず申し訳ありません。
毛塚敏男

篠原賢一様　（関田からご子息　篠原賢一さんへ）
この度はまことにご愁傷さまでございます。
お父様のご逝去を悼み、心よりお悔やみ申し上げます。
賢一様はもちろんですが、篠原さんの奥様にもお力落としの無いようよろしくお伝えください。
「文面ではあまり痛みを感じることなく穏やかに旅立たれた」とのこと、何よりでございました。重篤な症状とお聞きしてから毎日、心配しておりました。ついにこの時がきたかという思いです。お見舞いにも行かずにただただご連絡をいただくことになってしまったこと、悔やまれます。
取りあえずご連絡まで
関田善作

ご連絡ありがとうございます。
伝言板、確認致しました。ただただ、驚くばかりで言葉がありません。
家族葬の件、承知いたしました。
コロナの影響が、こんなところにも出るなんて･･･悲しいです。
昨年の 35 周年で最後にお会いできた事が今となっては、良かったと思える事だけが救いです。
山内朱実

ご連絡ありがとうございます。ご冥福をお祈りします。

中澤かおる

お知らせありがとうございました。
非常に驚きました。悲しいことですが、監督の記憶はそのまま頭と心に残っています。
お通夜、お葬式の件も承知しました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

飯田隆一

ご連絡ありがとうございます。
篠原監督のご冥福をお祈り申し上げます。

小林滋弥

ご連絡ありがとうございます。渡村です。
吉木さん、ちかちゃんからも連絡いただいておりましたがとても悲しくショックでした。
心よりご冥福をお祈りします。

渡村恵子

ご連絡ありがとうございました。
ただただ驚くばかりです。
昨年の 35 周年記念総会でお会いできて、お元気だなと思っていました。
8 年前にアトミクラブに入った当初、キロ 4 のインターバルで一緒に走っていて、「すごく速い“老人”がいるもんだな。すごいな」と思っていました。
3−4 年前から出てこられなくなったので、どうしているのかなと心配していました。
まさか、パーキンソン、すい臓がんとは、絶句するばかりです。
ご冥福をお祈りいたします。
偲ぶ会など、またご連絡をお願いいたします。

相馬　勝

お知らせいただきありがとうございます。
コロナ騒ぎで監督がどうされているかと気になっていたところでした。
残念ですが、監督と 35 周年のときに久しぶりにお会いできたことは本当によかったと思っています。
せめて私たちはコロナに負けずに元気に過ごして、監督のお別れの会が開催できる頃にはみんなで監督の思い出を語り合いたいですね。
ご冥福をお祈りいたします。

モコ（田村智子）

お知らせ、ありがとうございます。
優しい笑顔とご指導を思い出しながら、監督のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

星野恭子

突然の悲しいお知らせですね、
篠原さんのご冥福を心からお祈り申し上げます。
お別れの会には出席したいと思います。
コロナウイルスのこともあり、日取りは未定でしょうが、ご連絡下さい。

永岡信昭

ご連絡ありがとうございます。
本当に残念です。「お別れの会」宜しくお願い致します。

遠藤 昌志

篠原監督のご冥福を心よりお祈り申し上げます。
あまりの突然のことで・・・
ご連絡ありがとうございます。

佐々木月絵

連絡遅くなりましてすみません。連絡ありがとうございました。
驚きです！また本当に残念です。また大事な人がこの世を去ってしまったんですね。
篠原監督は走る情熱を示し気遣いの出来る監督だったと思います。
自分自身ではいろいろな思い出が蘇りました。
改めて謹んでお悔やみ申し上げます。
直近、私自身昨年の 10 月流山で右アキレス腱を痛めてから思うように練習が出来ずストレスになっております。中々治らず長引いています。

新　長太郎

アトミの山川です。お世話になっております。
篠原監督の訃報、ありがとうございました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。
山本勇次郎さん、山口正春さん、根本渉さん、中井明さん、富田さん、野口さん、稲川さんにも私より連絡させていただきました。
山本さんからは「ただ驚きの一言です、ご冥福をお祈りします。長い間お疲れ様です。と添えたいと思います」とのお返事をいただいております。

山川　寛